# 宮城 被害2兆円超

## 商工業関連は7300億円

河北新報
4月1日（金）
河北新報社
仙台市青葉区本町一-7-28
（郵便番号 980-8660）
「東」は、未来
電話（022）211
読者相談室 1447
販売 部1137 総務 部1308
スポーツ部1135 事業 部1318
夕刊編集部1146 営業管理部1332
生活文化部1125 事業 部1332
総合案内（022）211-1111
ご購読申し込みは
0120-09-3746

## 希望の大漁旗

東日本大震災で被災した大船渡魚市場の屋上に大漁旗が掲げられ、復興に懸ける浜の心意気を示している。

縦約1.5尺、横約2尺の極彩色の旗が空に映える。市場が毎年、水揚げ優秀船に贈った優勝旗だ。津波で被水した事務所から旗5本が見つかり、3月29日に一つを掲げた。

大船渡

市場はライフラインが寸断され、営業を休止している。建設中の新市場も被害を受けてオープンの時期は見通しが立っていない。

市場の千葉陸美専務(61)は「震員25人は全員無事だった。いつまでも下を向いてもしょうがない。大漁旗は震災から立ち上がるシンボルだ」と語った。

復興のシンボルとして大船渡魚市場の屋上に掲げられた大漁旗＝31日午前11時15分ごろ

宮城県沿岸部本部は、県の被害総額（推計）31日、東日本大震災による死者・行方不明者数が前日比で2万人増えて2万5300人に達したと発表した。320億円が加わり、総額は1兆6000億円に達したと発表した。経済関係の被害額は7～8割が絡んだ。

県経済部と観光部が所管する商工業や観光産業の被害内訳は工業関連5200億円、観光関連1900億円、商業関連1800億円。

## 河北新報の題号と社是

明治維新いらい東北地方は「白河以北一山百文」と軽視されていた。河北新報は「東北復興」と「不羈独立」を社是とし明治30（1897）年4月1日に創刊された。

東日本大震災関連記事
2面 子どもの村外避難検討
3面 JA、農家に無利子融資
4面 日本支援 G20連帯を
5面 応援メッセージ
16・17面 生活関連情報
18面 亡くなった東北の方々
19面 グラフ 人も街も奪われる
20面 津波被災 首長に聞く
21面 水産業復興へ動きだす
22面 孤児調査始まる 難題も
23面 レコード1枚 夢残す
24面 汚水あふれ街に異臭

# 原発増設を白紙化

## 首相「基本計画見直す」

菅直人首相は31日、東京電力福島第一原発事故を踏まえ、2030年以降に原発を現状より基本的に原発の増設を白紙化する政府方針を表明した。福島第一原発事故で、政府が避難指示を出した福島第一原発から約20キロ圏内に、東日本大震災で亡くなった人の遺体が数百人分残されていることが判明。警察庁は、警察官や自衛隊員が遺体の収容作業を始めたことを明らかにした。

福島第1原発20キロ圏内

## 遺体数百～千か

### 死後被ばく 検視に壁

福島県内の遺体は、当初は20キロ圏内で見つかるとされていたが、政府が避難指示を出した「警戒区域」内に集中が約300人の遺体が見つかり、東日本大震災で亡くなった人の遺体が数百～千体あると推定されることが31日、警察庁の調べで分かった。27日に、警察庁の検視班が、遺体の収容作業を始めたことを明らかにした。

福島県内の遺体は、放射性物質を含んだ埃が舞い散っている恐れがあり、作業する隊員の安全確保が課題となる。

警察庁は現場での検視を続けるとしている。遺体は最終的に遺族の手に渡すことが原則だが、放射線を浴びた遺体の取り扱いが問題となる。

放射性物質を含んだ埃が舞い散っている恐れがあり、作業する隊員の安全確保が課題となる。

警察庁は現場での検視を続けるとしている。遺体は最終的に遺族の手に渡すことが原則だが、放射線を浴びた遺体の取り扱いが問題となる。

遺体は、除染や検視も検討している。遺体を断念しているケースも多い。

被ばく医療の専門家に、作業をする隊員の安全確保と遺体の検視について聞いた。

福島県内の遺体は、政府が避難指示を出した「警戒区域」内に集中している。

身元確認のため、遺体から爪げを採取してDNA鑑定する方法もあるが、パルプ除染する必要があり、かなりの手間と時間がかかるという。

遺体は、除染が必要。遺体は、除染が必要。

遺体は、除染が必要。

遺体は、除染が必要。